ピスガからの風

第40号

2015年5月

社会福祉法人 近江ちいろば会
ピスガこうせい〒520-3242　滋賀県湖南市菩提寺327-4
TEL.0748-74-3900（代表）
FAX.0748-74-3910
http://chiiroba.jp/

2015年度の方針

館長
森口　茂

2014年度は、多くの皆様のご支援により「つどいcafé」の展開や厨房の直営化を軌道に乗せることができました。地域との交流や美味しい食事の提供は、これからの事業の幅を広げ地域の皆様に大きく貢献できるものと思います。

さて2015年９月に、創立20年を迎えるにあたり、ケアの中心をホスピタリティケアマネジメントに軸足を移し取り組んでまいります。

サービス　（顧客が本来的に行えること、あるいは行えないことを代行して提供する活動や機能）

↓

ホスピタリティケアマネジメントへ　（不便さの解消だけではなく、利用者のあたらしい価値の発見、感動・感激・充足感につながる）を目指して、顧客が「生きる希望を持てる」ケアに結びつくようにしていきます。

具体的には

１：接遇の向上
２：高齢の方が自ら動ける環境創り
３：地域の中の施設づくり（10月開設予定）
　認知症デイサービスを地域に展開し、介護予防（つどいcafé）との連動を図る
４：機能訓練型デイサービスの取り組み（新規）
５：課題事業所へのリバイバルプラン導入（多様な職能によるプロジェクト）

を実施してまいります。ご期待下さい。

ぼだいじ三上台の新しい認知症デイサービスセンター

業務改善活動の成果発表会（2014年度）

2014年度の業務改善発表会を２月10日に行いました。法人内の11事業所と地域のデイケアの家おしどり様の合計12事業所が一年間をかけて取り組んだ成果です。１位は、グループホームみなくちみんなの家の「口腔ケア」、２位は、デイサービスセンターいこいの「認知症ケア」、３位は、デイケアの家おしどりの「笑顔を増やそう」となりました。順位に選ばれなかった事業所もたいへんすばらしい改善活動と成果を上げられました。新年度は、さらにパワーアップした取り組みを目指していきます。

総　合　成　績	【チーム名】事業所名	改善テーマ	取り組みの概要
1位 近江ちいろば会 QC大賞	【みなくちすすむくん】 グループホーム みなくちみんなの家	口腔ケア 向上	グループホーム入居者の口腔アセスメントと口腔ケアに取り組みました。歯科衛生士による評価と職員の勉強会を行い、入居者全員に対し、口腔ケアを行いました。
2位 ハイパフォーマンス賞	【こぴっといこい】 デイサービスセンターいこい	認知症ケア 向上	認知症の専門的なケアを提供するべく、自宅での過ごし方のヒアリング調査、地域包括ケア認知症アセスメントＤＡＳＣによる利用者の再評価を行いました。そのアセスメントを元にデイサービスでの過ごし方、対応策を全職員が考えて実行しました。
3位 グッドパフォーマンス賞	【笑顔のおしぼり】 デイケアおしどり	笑顔を 増やそう	笑顔のアナログスケールを用いて、ひとり一人が、デイサービスに来て喜んでくれたのかを、数値化しました。笑顔のなかに、それまではわからなかった悩みや痛みがあることが分かり、対策を講じることができました。

基本理念：人にしてもらいたいと思うことを、人にもしなさい。

私たちはキリスト教の精神に基づいて、高齢者の全生活において、「隣人愛の奉仕」を実施することを基本理念とします。

各事業所の取り組み紹介

ケアハウス ピスガこうせい

メンバーの特徴
　職員同士団結して入居者への対応を迅速かつ丁寧に行えるように奮闘しております。

2014年度の成果
　入居者の高齢化も進み、筋力の低下が懸念される中で、散歩や体操を奨励していましたが、誰もが体操に参加できる環境が整えられてありませんでした。
　その対策として、体操を各階で実施したことにより、参加者数が大幅に増加しました。
　最初はラジオ体操2回はしんどいとおっしゃっていましたが、続けるうちに体が軽くなったという声が多く聞こえるようになりました。

2015年度のスローガン
　さすがケアハウスピスガこうせいは「家族のように親身になって接してくれる。」といわれたい。

具体的な行動計画

入居者
- 身体的不安、精神的不安の訴えがあった場合はじっくりと相談に乗れるような環境の中でお聴きし、対応する。
- 何もすることがないとおっしゃる入居者を減らすための支援として、職員が提供する教室等のイベントだけでなく、入居者の憩いの場の提供やレクリエーションのご提案をする。
- 土日が2人勤務になったことにより、より安心していただけるようになった。

地域
- ケアハウス入居時の一時金0円のケースを設け、入居の敷居が低くなったことをお伝えしていく。
- 地域の方も行事に参加していただき、より開かれた施設運営をしていく。

ぼだいじデイサービスセンター虹

メンバーの特徴
　若手からベテランまで揃っていて、色々な意見を出し合いながら、改善していこうとしていくチームです。今年からは柔道整復師やケアマネージャー有資格者がそろい、ご利用者様の生活の質向上に貢献していきます。

2014年度の成果
　今まで、医療処置が理由で受け入れが出来ていなかった、介護度の高い方を、看護師、ケアワーカーが連携して、幅広く受け入れることが出来るようになりました。

2015年度のスローガン
　デイサービスセンター虹は、来て楽しくて、日常生活に沿った介助をしてくれると言われる。

主な取り組み
　デイサービスセンター虹の環境の改善をおこない、ご利用者様一人ひとりに聞き取りを行い目標設定をして、それに沿ったレクリエーションの提供や、環境改善を行っています。

チーム力向上への取り組み
　今までのサービスの介助から、利用者様の目標目的に沿った介助が出来るようになっていきます。

ぼだいじデイサービスセンターいこい

メンバーの特徴
　ゆったり・まったり・焦らず・楽しくをモットーに、20代～60代までの幅広い年齢層が集まっているチームです。今年度は20代が２人。そのうち１人が新人。大きな期待を感じる年度となりそうです！若い刺激をもらいつつお一人おひとりが活躍できる居場所づくりを目指していきます。

2014年度の成果
　毎月の味ご飯クリエーションや幼稚園との交流や喫茶への外出など、生活に根差した取り組みや地域との交流を積極的に行いました。また、近隣への散歩や外出など、自然と身体を動かす機会を増やしました。そして、一日のお過ごしの中に、朝・昼・夕に体操の活動を取り入れ、メリハリのあるお過ごし方をしていただきました。

2015年度のスローガン
　お一人おひとりに居場所をつくる

主な取り組み
　基本理念『人にしてもらいたいと思うことを人にもしなさい』に基づいて、デイサービスいこいでは、ご利用者さまやご家族さまの思いや声を大切に、可能な限り実現できるデイサービスを目指しています。

チーム力向上への取り組み
- 接遇　～おもてなし～
- アクティビティ　～生活・予防レクリエーション～
- 環境　～主体的に活動できる環境～

小規模多機能型居宅介護事業所 ぼだいじみんなの家

メンバーの特徴
　明るくて元気、利用者様のことを第一に考えられるメンバーがそろっています。

2014年度の成果
- おうちから出にくい方、お泊りが苦手な方に対して、その人に合ったサービスを提案し、しっかりと成果を出すことができました。
- 地域の祭りに参加。利用者様に作っていただいた自主製品の販売をさせていただくことにより、利用者様による地域貢献に取り組みました。
- 百歳体操の導入により、利用者様の健康維持につとめています。

2015年度のスローガン
　さすがぼだいじみんなの家は「長くつきあえる事業所だ」と言われたい。

主な取り組み
- 小規模多機能型サービスならではの特徴を活かし、認知症をお持ちの方や、そのご家族のお困りごとをしっかりと解決していきます。
- 地域包括ケア実現のため、地域との交流、医療との連携を積極的におこなっていきます。

チーム力向上への取り組み
- 訪問サービスの質の向上
- 認知症ケア力の向上

グループホームぼだいじ

メンバーの特徴
　４月から新卒者を迎えた中、年齢層も厚く、たいへん個性豊かなメンバー達です。若い力と年配職員の経験と知恵を活かし、認知症高齢者の生活を笑顔と安心で支え、共に元気にを目指し頑張っています。

2014年度の成果
- 利用実績として、退去者数　1名
  入居者数　1名　空室日　8日
  入院者数　1名　入院空室 11日
  空室合計　19日
  （空室日数は昨年より26日少ない）
- オール電化にし光熱費の削減につなげました。
- ユニット内に図書室を作り、ゆったりと学べる場を設けました。

2015年度のスローガン
- さすが「グループホームぼだいじ」は、「認知症であっても役割を持って笑顔で生き生きと暮らせる所」と言われたい。

主な取り組み
1. 職員のキャリアアップ
2. 職員の接遇意識の向上
3. チームのベクトルを合わせる

チーム力向上への取り組み
- 成果を生み出す為の方法と、どのようなシナリオによって取り組むかを「意識化」し、それを通して「個人力」と「チーム力」を伸ばしていきます。

中央デイサービスセンターしんあい

メンバーの特徴
　ご来所下さる全ての方を大切にしています。
　業務にはテキパキですが、一転とびっきりの笑顔で、個々のご利用者様のペースに合わせられるエキスパートです。

2014年度の成果
　しんあいを気に入って下さり、多くの方が利用回数を増やして下さいました。
　湖南市の若年認知症の相談窓口を開設致しました。
　保育園との交流を始められました。

2015年度のスローガン
　在宅で暮らせる力を『優しく強く』サポートします。

主な取り組み
　機能訓練は、個別のプログラムで在宅生活での困りごとが軽減されるよう、ご家族やケアマネージャーと連携を図る。
　若年認知症の方の積極的な受け入れとともに、中央地区への働きかけを行います。

チーム力向上への取り組み
- 対外活動に積極的に参加する。
- 多種多様の繋がりを作る。

法　人　本　部

メンバーの特徴
　それぞれが、専門性を有している、スペシャリストと自負しています。
　事業所をバックアップして、法人を支えてまいります。

2014年度の成果
　研修計画の立案・実施が計画的に行えました。
　等級別人事制度の導入が図れました。

2015年度のスローガン
　さすが「近江ちいろば会の本部」は、「専門的業務を基本に、忠実に、柔軟に、マルチに対応しテキパキとこなせるエキスパートがそろっている」と言われたい。

主な取り組み
- 各事業所のサービスの付加価値が上がる取り組みを提案
- 新介護請求システムの導入と定着
- 創立20周年記念のイベントの開催
- 法令遵守の徹底

チーム力向上への取り組み
- 介護保険給付削減の中での経営の安定へ職種を超えて取り組む

ぼだいじ訪問看護ステーション

メンバーの特徴
　いつも笑顔で明るくパワフルな、ぼだいじ訪看３姉妹です。
「ホッと安心♥グッと元気に!!」のキャッチフレーズの通り、皆様に安心と元気をお届けします。

2014年度の成果
　メンバーが安定し、外部の研修にも多く参加し知識の向上に努めました。
　地域の夏祭りやグループホームの行事などにも参加し、地域や他事業所との交流を図ることが出来ました。

2015年度のスローガン
　「来てくれると安心する、頼れる存在」と言っていただけるよう、明るく、元気に、誠実に頑張ります。

高齢者支援センター ぼだいじ

メンバーの特徴
　女性ばかり4人の事業所です。それぞれの個性を最大限に生かして楽しいプログラムを考案して生きがいデイサービスを実施中です。

2014年度の成果
- 高齢者支援センター
  つどいcaféの立ち上げ運営にかかわる。
- 生きがいデイサービス
  ご利用者それぞれの自分史を作成。文集形式でまとめ記念発行をする。

2015年度のスローガン
- 高齢者支援センター
  ご相談事に迅速かつ丁寧に対応いたします。
- 生きがいデイサービス
  ご利用者のチャレンジ精神を発揮してもらい支え合う仲間づくり。

2015年度の研修
- 軽度認知症の方へのアプローチ方法を勉強する。
- 生きがいデイサービスご利用者のケース検討をスタッフ間で行う。

チーム力向上への取り組み
- 3ヵ月毎のスタッフミーティングで情報の共有
- 綿密な「報告・連絡・相談」

ぼだいじホームヘルパーステーション

メンバーの特徴
　愛情たっぷり　体重たっぷり　のヘルパーです。

2015年度の方針
　あなたに会えて好かった‥と言われる事業所

2015年度のスローガン
　さすがぼだいじヘルパーステーションは、「かゆいところに手が届く」と言われたい。

主な取り組み
　利用者が望む一歩先行くサービスを行う
　しっかりフェイスシートを確認
　不安な気持ちにしっかり傾聴する
　暴言と取られる言葉の意味を知る努力をする

チーム力向上への取り組み
　知って損はない情報を知る
　介護技術

ぼだいじ居宅介護支援センター

今年から新しいメンバーも加わり、より一層パワーアップした体制で、きめ細やかな支援を行っていきます。

2014年度の成果
互いにサポートし合えるチームワークを大切にしながら、主任ケアマネジャー配置による特定事業所として、その人らしい自立生活に向けた相談支援が展開できました。

2015年度の方針
地域の方に選んでいただける事業所を目指します。

2015年度のスローガン
さすが「ぼだいじ居宅介護支援センターは、しっかり話を聞いてくれる。」といわれたい。

主な取り組み
ご本人やご家族の強みを活かしつつ、わかりやすいケアプランを作成します。地域で「どう役に立てるか。」の視点も大切にしていきます。

チームワーク向上への取り組み
法人内の他の事業所との連携に努め、ケアプランの充実を図ります。スピーディに建設的なミーティングを行い、チーム内の意見交換を活発にしていきます。

2015年度の研修計画
・主任介護支援専門員研修、実務従事者基礎研修、管理者キャリアアップ研修等

厨房　ごちそうさん

メンバーの特徴
個性豊かなメンバーがそれぞれの良さを強みに変えて温かい、穏やかな食事の提供を目指します。

2014年度の成果
施設内外のお楽しみ弁当や急な食数や食事形態にも臨機応変に対応します。

2015年度のスローガン
『毎日食事が楽しみ。まちどおしいわ！』って言ってもらうことをスローガンに頑張っています。

主な取り組み
新鮮な食材で美味しい料理を提供します。かつおのだしがらからふりかけや、新鮮野菜たっぷりのベジブロス（栄養満載の野菜くずでお宝スープ）を使った味噌汁や煮物を毎日作っています。

チーム力向上への取り組み
信頼関係をベースに課題に対する知恵を出し合う仲間作り。
とにかくチームワークを第一に考えます。

みなくち　みんなの家

グループホーム

みんなの家の特徴
アットホームで若い職員がいきいきと働けるところです。

2014年度の成果
・綾野小学校、水口幼稚園との交流を行う事ができた（運動会、相撲大会、花の日、クリスマス、雑巾を届ける等）
・自治会行事への参加（防犯パトロール、溝掃除、防災訓練、地区懇談会、草刈等）
・地域の方に支えられ、買物や畑仕事、散歩などを継続して行う事ができた

2015年度のスローガン
「みなくちみんなの家」が、「水口に出来てよかった」と言われたい。

主な取り組み
・入居者の方の生活史を、入居者本人、ご家族と一緒に作り、今以上にお互いを知る機会を作る
・定期的に買物から調理までの食事つくりの機会を作る

チーム力向上への取り組み
１： 入居者の方の気持ちを理解する　本人の立場で考える
２： 報告、連絡、相談がしっかりと行えるチーム作りを行う
３： モニタリングを行い、PDCAサイクルを考えられる会議を行う

デイサービスセンター

メンバーの特徴
デイサービスセンターみなくちみんなの家は、いつも笑い声のある明るい雰囲気です。元気な職員が多く、ご利用者様の笑顔を大切にして一日一日を充実して過ごして頂けるよう心がけています。

2014年度の成果
・定期的にボランティアさんがたくさん来て頂くことが出来た。
・やりがいケースの依頼が多くニーズに応えることが出来た。

2015年度のスローガン
「デイサービスセンターみなくち　みんなの家」は「何とかしてくれるわ」と言われたい。

ケアプランセンターみなくちみんなの家＆調理室

ケアマネージャー

昨年度は、民生委員協議会に出席させていただき、みんなの家を広報させていただきました。
今年度も引き続き、児童、障害、高齢等多分野で経験してきたケアマネージャーが地域の皆様のご支援、ご相談のお手伝いをさせていただきます。
お困りごとがあったら、いつでも相談してください。

調理室

毎日手作りの美味しい料理を入居者、職員と共に提供しています。若い職員が多い中、大切な食事作りをわかりやすく、利用者の方と一緒にできるよう育成しています。
この１年間で、味噌汁の味付けもできなかった若い職員が、利用者と一緒に作れるようになりました。また、一品料理やケーキを作りが根付いています。

つどいcaféの取り組み

昨年の4月から毎週土曜日の13：30～15：30に“つどいcafé”をオープンすることができました。毎回、地域の高齢の方を中心に７～10名ほどの方が来て下さっております。アットホームな雰囲気の中、コーヒーを飲みながら、高齢化・認知症などの真剣な話をしたり、趣味や特技などの話をしたり、話の内容は様々ですが、地域の皆様が気軽に立ち寄れて、相談や悩みを聞かせていただけるような場所になれればいいと思っております。どうぞ、皆さまお気軽にお越しください。

(福)近江ちいろば会の事業体系

－在宅介護と認知症ケアに重点をおいた質の高いケアの提供体制－

湖南市エリア

グループホーム「ぼだいじ」	ケアハウス「ピスガこうせい」	デイサービス「虹」一般型
小規模多機能「ぼだいじ みんなの家」	ぼだいじ訪問看護ステーション	デイサービス「いこい」認知症型
ぼだいじ居宅介護支援センター	ぼだいじホームヘルパーステーション	生きがいデイサービス
高齢者支援センターぼだいじ	ちいろば移送サービス	民家型デイサービス「しんあい」認知症型

甲賀市エリア

ケアプランセンターみなくち みんなの家	グループホームみなくち みんなの家	デイサービスみなくち みんなの家

リスクマネジメント活動結果より(2014年度)

これまでのリスクマネジメント活動は、ヒヤリハット報告や事故報告を出すだけで終わっていましたが、2014年度は、ヒヤリハットの事業所別の事故種類、時間帯、発生場所、リスク評価、ＡＤＬ分類等で分析し、活用できるよう改善しました。リスクマネジメント委員会を毎月開催し、ケース検討、対策案の検討、業務の標準化などに取り組みました。まだ、事業所ごとの取り組みの差がありますが、継続して取り組み、ご利用者様の安全、安心、高品質の介護サービスを提供していきます。

年間の最も優れた活動組織として、ＭＶＴ「グループホームぼだいじ」、模範となる活動をされた職員に、ＭＶＰ「デイサービスしんあい宮島所長」が選ばれました。

順位		累計	構成比
	事故の種類別	266	100.0%
1	転倒･転落･滑落･ずれ落ち関連	84	31.6%
2	管理面	49	18.4%
3	与薬関連	33	12.4%
その他		100	37.6%

順位		累計	構成比
	報告事業所	266	100.0%
1	グループホームぼだいじ	77	28.9%
2	ぼだいじデイサービスセンター虹	44	16.5%
3	小規模ぼだいじみんなの家	38	14.3%
その他		107	40.3%

キャリアパスとターゲットプラン(目標管理)をバージョンアップし、全職員がキャリアアップを目指します。(2015年度)

2015年度介護報酬改定の項目である処遇改善加算要件（Ⅰ）に対応したキャリアパスに改訂しました。階層別の役割を明確にすることで、成長へのモチベーションが高まる仕組みを導入しました。

新入職員紹介

荒木　咲綾さん（成安造形大学　芸術学部）
黄之瀬鮎美さん（龍谷大学　社会学部　地域福祉学科）
山本　絵美さん（龍谷大学　社会学部　地域福祉学科）

今年度は３名の方に入職頂き、現在は研修期間を終え、各事業所に配属となりました。
それぞれに豊かな知識と個性をお持ちなので、これからの活躍を大いに期待できる皆さんです。どうぞ、宜しくお願い致します。

24時間テレビ 福祉車両贈呈

この度、全国のみなさまの善意の寄付金により、24時間テレビ「愛は地球を救う」様から、スロープ付き自動車　ダイハツ　アトレースローパーを寄贈いただきました。
車いすのスペースが広く、より安全なことと、乗り降りの際には便利な手すりがついているので、ご利用者様に大変喜んで頂いています。これからも大切に使用し、サービスの向上に努めたいと思います。
ありがとうございました。

デイサービスセンター虹の取り組み

「おもてなし」重視
↓
「楽しく　目的が達成できるデイサービス」へ

デイサービスセンター虹では、現在ご利用者様が、楽しみが持て、目的が達成出来るデイサービスセンターを作るために、環境配置、レクリエーション等の改善を行っています。

寄付金・後援会費　感謝報告　2015年1月1日～4月20日～現在　〔順不同･敬称略〕

後援会
日本基督教団彦根教会
榎本てる子
京都丸太町教会シオン会
日本基督教団水口教会
日本基督教団水口教会子どもの教会
日本基督教団洛西教会
歌声サロン

寄　付
藤井隆幸

発行日　2015年5月
発行責任者
理事長　奈　良　譽　夫
館　長　森　口　　茂

振込口座　後援会費
取り扱い金融機関　郵便局
口座番号　00960-0-109363
社会福祉法人　近江ちいろば会
会費：年額1口 5,000円（何口でも可）

事業内容
ケアハウス　ピスガこうせい／ぼだいじデイサービスセンター／ぼだいじホームヘルパーステーション／ぼだいじ居宅介護支援センター／高齢者支援センターぼだいじ／グループホームぼだいじ／中央デイサービスしんあい／小規模多機能型居宅介護　ぼだいじみんなの家／みなくちみんなの家（グループホーム、デイサービス、ケアプランセンター）／ぼだいじ訪問看護ステーション